SMT ゴールドインデックス・オープン（為替ヘッジあり）

追加型投信／内外／その他資産（商品）／インデックス型

交付運用報告書

第14期（決算日　2024年11月11日）
（作成対象期間　2024年5月11日～2024年11月11日）

当期末	
基準価額	15,646円
純資産総額	5,099百万円
騰落率	11.0%
分配金合計	0円

（注1）以下本書において、基準価額及び分配金は1万口当たりで表記しています。
（注2）騰落率は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

■口座残高など、お客さまのお取引内容についてのお問い合わせお取引のある販売会社へお問い合わせください。
■当運用報告書についてのお問い合わせ
フリーダイヤル:0120-668001
（受付時間は営業日の午前9時～午後5時です。）

SMTAM投信関連情報サービス
お客様が指定されたファンドに関する情報（基準価額、レポート）や投資に関するコラム等をLINEでお知らせします。
※LINEご利用設定は、お客様のご判断でお願いします。
※サービスのご利用にあたっては、あらかじめ「SMTAM投信関連情報サービス利用規約」をご確認ください。

受益者のみなさまへ

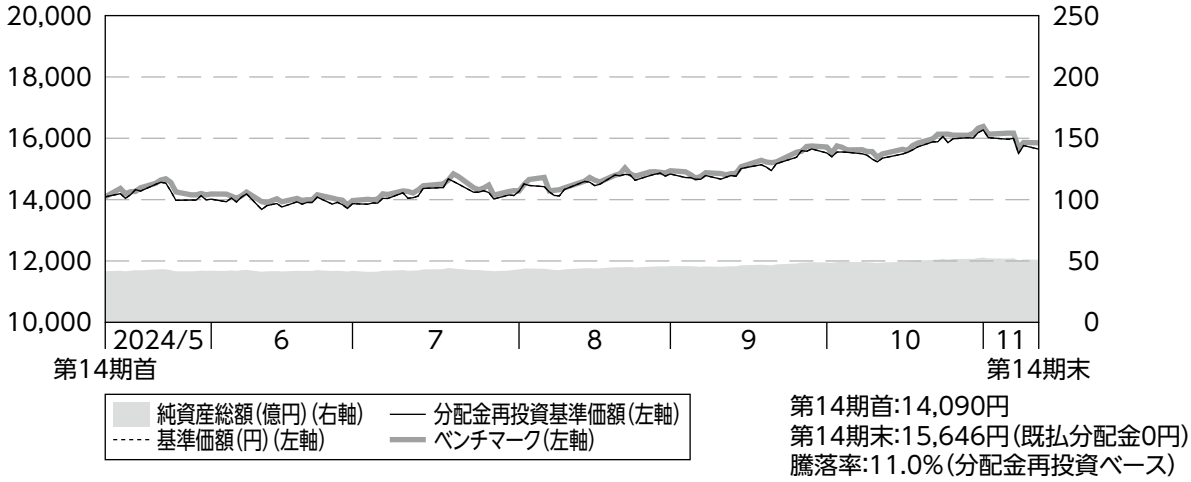
平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。
さて、当ファンドは、このたび、上記の決算を行いました。
当ファンドは、主として金現物に投資する上場投資信託証券に投資するとともに、実質組入外貨建資産について原則として対円での為替ヘッジを行うことで、LBMA金価格（円ヘッジベース）に連動する投資成果を目指して運用を行いました。ここに期間中の運用状況についてご報告申しあげます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申しあげます。

三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社
〒105-0011　東京都港区芝公園一丁目1番1号
ホームページ　https://www.smtam.jp/

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。上記ホームページにアクセスし、「ファンド検索」等から、当ファンドのページを表示させることにより、運用報告書（全体版）を閲覧及びダウンロードすることができます。なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

運用経過の説明

1 基準価額等の推移



第14期首:14,090円
第14期末:15,646円(既払分配金0円)
騰落率:11.0%(分配金再投資ベース)

(注1)分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
(注2)分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
(注3)分配金再投資基準価額及びベンチマークは、2024年5月10日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

ベンチマークは、LBMA金価格(円ヘッジベース)です。詳細につきましては後記をご覧ください。

2 基準価額の主な変動要因

ベンチマークであるLBMA金価格(円ヘッジベース)の動きを反映して、基準価額は上昇しました。

3 1万口当たりの費用明細

項目	当期 (2024年5月11日~2024年11月11日)		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	21円	0.139%	(a)信託報酬=〔期中の平均基準価額〕×信託報酬率 期中の平均基準価額は14,796円です。 信託報酬に係る消費税は当(作成)期末の税率を採用しています。
(投信会社)	(8)	(0.056)	委託した資金の運用、基準価額の計算、開示資料作成等の対価
(販売会社)	(10)	(0.067)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(2)	(0.017)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.009	(b)売買委託手数料=$\frac{\text{〔期中の売買委託手数料〕}}{\text{〔期中の平均受益権口数〕}}\times 10{,}000$
(株式)	(−)	(−)	
(新株予約権証券)	(−)	(−)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(オプション証券等)	(−)	(−)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(−)	(−)	
(投資信託証券)	(1)	(0.009)	
(商品)	(−)	(−)	
(先物・オプション)	(−)	(−)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c)有価証券取引税=$\frac{\text{〔期中の有価証券取引税〕}}{\text{〔期中の平均受益権口数〕}}\times 10{,}000$
(株式)	(−)	(−)	
(新株予約権証券)	(−)	(−)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(オプション証券等)	(−)	(−)	
(新株予約権付社債(転換社債))	(−)	(−)	
(公社債)	(−)	(−)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	2	0.010	(d)その他費用=$\frac{\text{〔期中のその他費用〕}}{\text{〔期中の平均受益権口数〕}}\times 10{,}000$
(保管費用)	(1)	(0.008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	24	0.158	

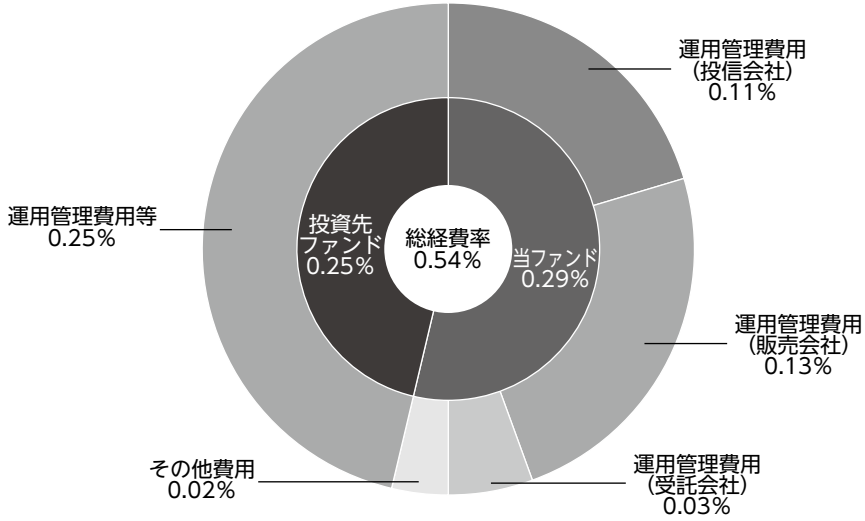
(注1)期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
(注2)各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注3)「比率」欄は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。
(注4)各項目の費用は、当ファンドのマザーファンドが組み入れている上場投資信託証券が支払った費用を含みません。

運用経過の説明

<参考情報>

総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.54%です。

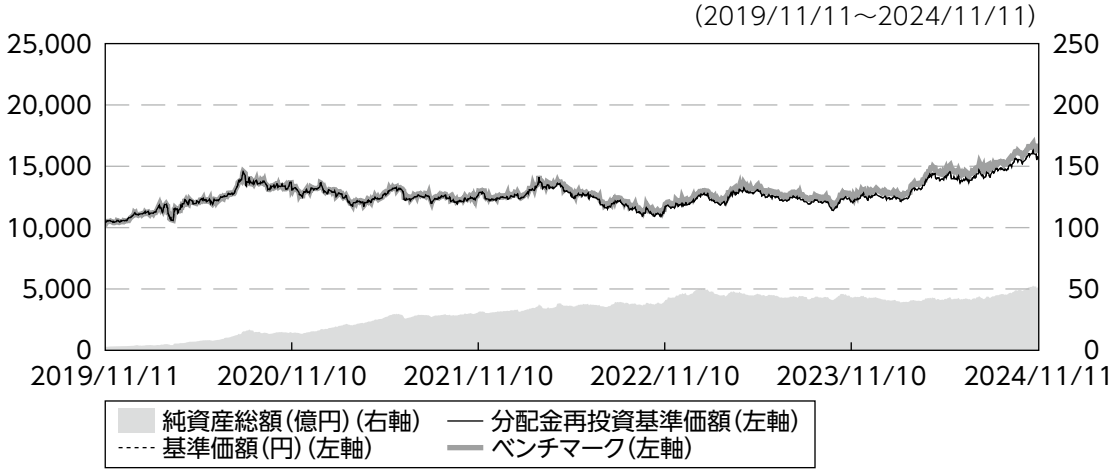


総経費率（①+②）	0.54%
①当ファンドの費用の比率	0.29%
②投資先ファンドの運用管理費用等の比率	0.25%

（注1）当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
（注3）各比率は、年率換算した値です。
（注4）投資先ファンドとは、当ファンドのマザーファンドが組み入れている上場投資信託証券です。
（注5）当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、当ファンドのマザーファンドが組み入れている上場投資信託証券が支払った費用を含みません。
（注6）当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
（注7）投資先ファンドの費用は投資先運用会社等から提供された入手可能なデータや情報を基に三井住友トラスト・アセットマネジメントが作成しています。
（注8）投資先ファンドの運用管理費用等の比率は、各月末の当ファンドのマザーファンドが組み入れている上場投資信託証券の保有比率に当該上場投資信託証券の運用管理費率を乗じて算出した概算値を使用している場合があります。
（注9）投資先ファンドの運用管理費用等の比率には、運用管理費用以外の費用も含む場合があります。
（注10）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

運用経過の説明

4 最近5年間の基準価額等の推移



(注1)分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとして計算しております。
(注2)分配金再投資基準価額及びベンチマークは、2019年11月11日の値を基準価額に合わせて指数化しています。

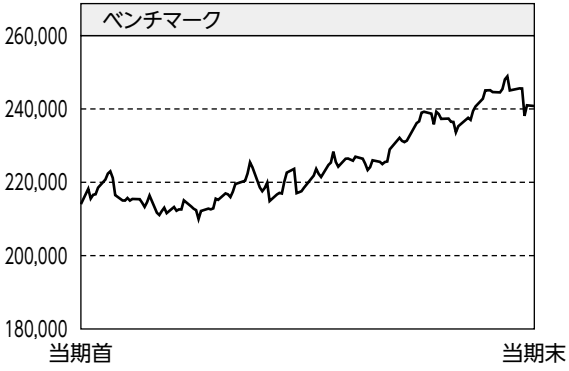
	2019年11月11日 決算日	2020年11月10日 決算日	2021年11月10日 決算日	2022年11月10日 決算日	2023年11月10日 決算日	2024年11月11日 決算日
基準価額 (円)	10,485	13,109	12,657	11,408	12,162	15,646
期間分配金合計(税引前) (円)	－	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	－	25.0	△3.4	△9.9	6.6	28.6
ベンチマーク騰落率 (%)	－	25.4	△3.0	△7.9	6.8	30.1
純資産総額 (百万円)	293	1,410	3,104	3,992	4,337	5,099

ベンチマークは、LBMA金価格(円ヘッジベース)です。
LBMA金価格とは、正式名称は LBMA Gold Price PMといい、ICEベンチマーク・アドミニストレーション・リミテッド(ICE Benchmark Administration Limited)によってロンドン時間の午後に公表される1トロイオンスあたりの金現物価格(米ドル建て)を指します。なお、LBMAは、ロンドン貴金属市場協会(London Bullion Market Association)の略称です。
「円ヘッジベース」は、対円の為替ヘッジを考慮して当社が独自に算出した指数です。

ICEベンチマーク・アドミニストレーション・リミテッド(ICE Benchmark Administration Limited)は、LBMA金価格及びLBMA金価格が示す、あらゆる特定の日、特定の時点における数値により生じた結果について、明示的又は暗示的に、何ら保証するものではありません。ICEベンチマーク・アドミニストレーション・リミテッドは、当ファンドに関する商品性や特定目的への適合性について、明示的又は暗示的に、何ら保証するものではありません。

運用経過の説明

5 投資環境



金価格は上昇しました。
期初から8月頃までは各種経済指標が鈍化を示したこと等により、FRB（米連邦準備理事会）による利下げの観測が高まり金価格は上昇しました。その後9月のFOMC（米連邦公開市場委員会）では0.5%の利下げが実施されたことで、金価格は続伸し高値圏で推移しました。期末にかけてはトランプ氏の米大統領選当選により米国債利回りが上昇したことで、金価格は下落しました。

6 当ファンドのポートフォリオ

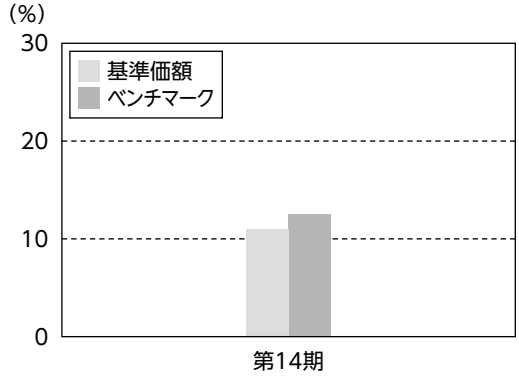
「ゴールドマザーファンド（為替ヘッジあり）」受益証券を高位に組み入れ運用を行いました。

【「ゴールドマザーファンド（為替ヘッジあり）」の運用経過】
金現物に投資するETF（上場投資信託証券）の組入比率を期を通じて高位に維持し、組入外貨建資産については原則として対円での為替ヘッジを行うことでベンチマークであるLBMA金価格（円ヘッジベース）と連動する投資成果を目標として運用を行いました。

運用経過の説明

7 当ファンドのベンチマークとの差異

以下のグラフは、当ファンドの基準価額（分配金込み）とベンチマークの騰落率の対比です。



当期の基準価額騰落率はベンチマーク騰落率に概ね連動しました。
差異の主な要因は、為替ヘッジ要因、キャッシュ要因、ETF要因※、信託報酬要因（為替ヘッジ要因・信託報酬要因・ETF要因はマイナス要因、キャッシュ要因はプラス要因）などです。

※ベンチマークがロンドン時間の価格を元に算出されるのに対しETFは米国市場の終値で評価されることにより発生する評価差要因です。

8 分配金

基準価額水準、市況動向等を考慮して、収益分配は見送りとさせていただきました。
なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

（1万口当たり・税引前）

項目		第14期
		2024年5月11日~2024年11月11日
当期分配金	（円）	－
（対基準価額比率）	（％）	（－）
当期の収益	（円）	－
当期の収益以外	（円）	－
翌期繰越分配対象額	（円）	5,646

（注1）「当期の収益」及び「当期の収益以外」は、円未満を切り捨てて表示していることから、合計した額が「当期分配金」と一致しない場合があります。
（注2）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注3）－印は該当がないことを示します。

今後の運用方針

ゴールドマザーファンド(為替ヘッジあり)(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主として別に定める金現物に投資する上場投資信託証券(以下「投資対象上場投資信託証券」といいます。)に投資するとともに、実質組入外貨建資産について原則として対円での為替ヘッジを行うことで、別に定める金現物市場を代表する指標(円ヘッジベース)(以下「ベンチマーク」といいます。)に連動する投資成果を目指します。

別に定める「投資対象上場投資信託証券」とは、次のものをいいます。
iShares Gold Trust
SPDR Gold Shares
別に定める「ベンチマーク」とは、次のものをいいます。
LBMA金価格(円ヘッジベース)
ただし、マザーファンド受益証券が主要投資対象とする投資対象上場投資信託証券が参照するベンチマークが変更された場合、上記のベンチマークも変更となる場合があります。

お知らせ

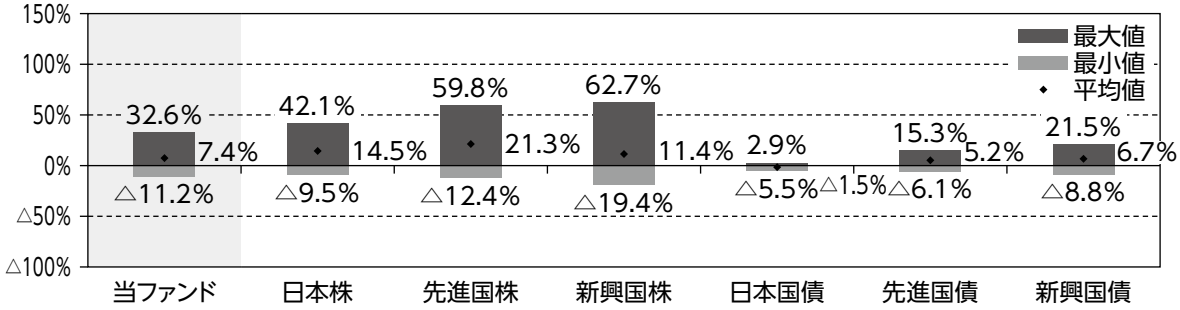
該当事項はありません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（商品）／インデックス型	
信託期間	信託期間は2017年11月28日から無期限です。	
運用方針	投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	SMT ゴールドインデックス・オープン（為替ヘッジあり）	下記のマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	ゴールドマザーファンド（為替ヘッジあり）	別に定める金現物に投資する上場投資信託証券（以下「投資対象上場投資信託証券」といいます。）を主要投資対象とします。 別に定める「投資対象上場投資信託証券」とは、次のものをいいます。 iShares Gold Trust SPDR Gold Shares
運用方法	ゴールドマザーファンド（為替ヘッジあり）（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として「投資対象上場投資信託証券」に投資するとともに、実質組入外貨建資産について原則として対円での為替ヘッジを行うことで、別に定める金現物市場を代表する指標（円ヘッジベース）（以下「ベンチマーク」といいます。）に連動する投資成果を目指します。 別に定める「ベンチマーク」とは、次のものをいいます。 LBMA金価格（円ヘッジベース） ただし、マザーファンド受益証券が主要投資対象とする投資対象上場投資信託証券が参照するベンチマークが変更された場合、上記のベンチマークも変更となる場合があります。	
分配方針	年2回、毎決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して分配金額を決定します。ただし、分配を行わないことがあります。 分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益及び売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

(2019/11～2024/10)



(注1)2019年11月～2024年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。
(注2)当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されていますので、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
(注3)各資産クラスの指数
日本株・・・・ TOPIX(東証株価指数)(配当込み)※1
先進国株・・・ MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)※2
新興国株・・・ MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円ベース)※3
日本国債・・・ NOMURA－BPI国債※4
先進国債・・・ FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)※5
新興国債・・・ JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス－エマージング・マーケッツ・グローバル・ディバーシファイド(円ベース)※6
海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベース指数を使用しております。
※全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

※1 TOPIX(東証株価指数)とは、株式会社JPX総研が算出、公表する指数で、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されます。「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数の指数値及び同指数に係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウ及び同指数に係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。
※2 MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した日本を除く世界の主要国の株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。また「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数に関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
※3 MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した世界の新興国株式市場の動きを表す株価指数で、株式時価総額をベースに算出されます。また「配当込み」指数は、配当収益を考慮して算出した株価指数です。同指数に関する著作権等の知的財産権及びその他の一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。
※4 NOMURA－BPI国債とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する、国内で発行された公募固定利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスを基に計算されます。同指数の知的財産権は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、同指数を用いて行われる当社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。
※5 FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性及び完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。
※6 本指数は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2014, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

当ファンドのデータ

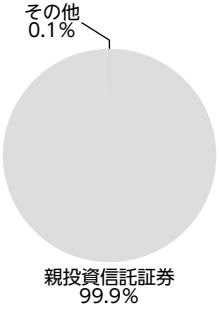
1 当ファンドの組入資産の内容

○組入ファンド

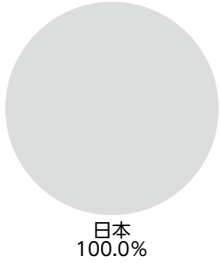
	当期末
	2024年11月11日
ゴールドマザーファンド(為替ヘッジあり)	99.9%
その他	0.1%
組入ファンド数	1

(注1)組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
(注2)詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

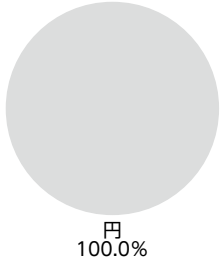
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注)資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。
その他は未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。

2 純資産等

項目	第14期末
	2024年11月11日
純資産総額	5,099,573,081円
受益権総口数	3,259,315,050口
1万口当たり基準価額	15,646円

※当期間中における追加設定元本額は926,383,173円、同解約元本額は624,526,424円です。

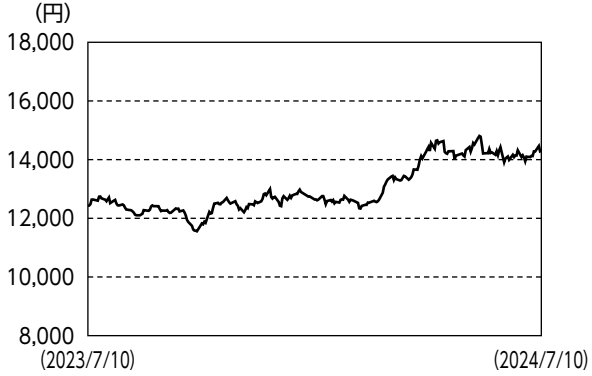
当ファンドのデータ

3 組入ファンドの概要

現時点で入手し得る下記ファンドの直近の決算日の情報を掲載しております。

ゴールドマザーファンド(為替ヘッジあり)

○基準価額の推移



○1万口当たりの費用明細

(2023年7月11日～2024年7月10日)

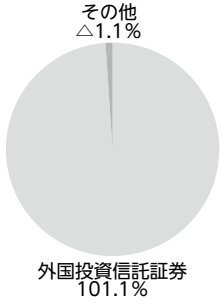
項目	
(a) 売買委託手数料	1円
(投資信託証券)	(1)
(b) 有価証券取引税	0
(投資信託証券)	(0)
(c) その他費用	2
(保管費用)	(2)
(その他)	(0)
合計	3

○上位10銘柄

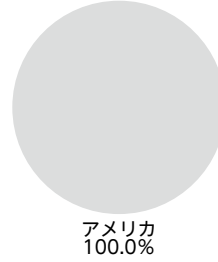
順位	銘柄名	国・地域	組入比率
1	ISHARES GOLD TRUST	アメリカ	101.1%
2	―――	－	－
3	―――	－	－
4	―――	－	－
5	―――	－	－
6	―――	－	－
7	―――	－	－
8	―――	－	－
9	―――	－	－
10	―――	－	－
組入銘柄数		1	

(注)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分

(注1)上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは2024年7月10日現在のものです。
(注2)1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の決算期のものです。費用項目の概要等については「運用経過の説明 1万口当たりの費用明細」をご参照ください。
(注3)資産別・通貨別配分の比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別配分の比率は組入証券評価額に対する評価額の割合です。その他は未収・未払金等の発生により、数値がマイナスになることがあります。